



子ども達の自己肯定感を高めるためのカリ★マネ

～ O (目標設定) P (計画) D (実行) C (評価) A (目標達成の確認) サイクルの活性化 ～

学校教育目標

- ① よく考え自ら 学習する子
- ② 仲良く助け合う子
- ③ たくましい体と気力のある子



重点目標

- ① 「学び方」を身に付け、自分で計画を立てて学習できる子
- ② 協力して学習活動や自治活動ができる子
- ③ 何事も最後までやりとおそうと頑張る子

豊かな人間性

～仲良く助け合う集団作り～

健康・体力

～ 学習の基盤となる資質・能力の育成～

行動目標：「吉原っ子のあたりまえ」

- 1 **よ** く聴く目と耳
- 2 **し** っかりとあいさつ・返事
- 3 **ハ** ッピーふわふわ言葉
- 4 **ラ** プがあふれる楽校

行動目標：「吉原っ子のあたりまえ」

- 5 早寝・早起き・朝ごはん
- 6 整理・整頓・靴並べ

資質・能力の育成

何ができるようになるか

○学校教育の基本

何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- ◇「学び方」を身に付け、自主的に学習する力
- ◇何事も最後までやり通す心身のたくましさ
- ◇自他の良さや違いを認め、互いに協力し高め合う力
- ◇地域の自然や文化・歴史に親しみ、郷土を大事にする心



- ◆「学び方」を身に付け、自主的に学習しようとしている。
- ◆何事も最後までやり通そうとしている。
- ◆自他の良さや違いを認め、互いに協力し高めようとしている。
- ◆地域の自然や文化・歴史に親しみ、郷土を大事にしている。

子供の実態

- ・あいさつを返せるが、進んであいさつするまでに至っていない。
- ・与えられた課題に対して、素直にがんばろうとするが、自ら考え行動することが難しい。
- ・自分には良いところがあると感じている子が少ない。

全ての子どもの学習権を保障する

～子どもの発達の支援をどのようにするか～

- 一人一人の発達の課題（ニーズ）の把握
- 個に応じたきめ細やかな支援
- 「チーム吉原」（全職員）での組織的対応

めざす子どもの姿

- ◇夢や希望の実現に向けて意欲的に学習する子
- ◇何事も最後までやり通す心身のたくましい子
- ◇自他の良さや違いを認め、互いに協力し高め合う子
- ◇地域の自然や文化・歴史に親しみ、郷土を大事にする心子

何を学ぶか

○教育課程の編成



どのように学ぶか

○教育課程の実態



- ①基礎学力を身に付ける。【音読・漢字・計算・教科用語・辞書引き】
- ②「学び方」を身に付ける。【各教科オリエンテーションの実施、単元計画の作成、ガイド学習】
- ③「話し合い」の仕方を身に付ける。【吉原っ子会議、学級会】
- ④学習意欲が向上する家庭学習の取組【家庭学習の手引き、強化月間の取組】

- ①「沖縄県学力向上推進5カ年プランプロジェクトⅡ」
- ②「石垣市スタンダード」での授業実践
- ③「石垣市勇気づけの教育」の推進
- ④「ガイド学習」「学習の手引き」の導入
- ⑤学級懇談会や授業参観、各種お便り・HPで家庭への啓蒙・情報提供

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ☆児童理解（「Q-Uアンケートの活用」学期1回、「先生あのねアンケート」毎月1回）を基盤とした、生徒指導の3機能を生かした授業づくりの推進
- ☆地域素材や地域の諸団体との情報共有・協働
- ☆小中連携（富野小中・川平小中・崎枝小中）
- ☆子ども支援のための外部機関等との情報共有・協働（民生委員、SC,SSW等）

安心・安全を守る

- △リスクマネジメントの徹底
- △「自分の命は自分で守る」指導
- △いじめの早期発見・早期対応



開かれた学校づくり

- 🏠 地域の教育資源を生かした学校づくり
- 🏠 学校HP、学校メーリングサービス、各種便り(学校だより、学級通信、保健、図書館、教育相談等)による積極的な情報発信